

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

動労千葉48時間スト闘う

安全崩壊・事故続発の「IT企業化」「鉄道部門4千人削減」

動労千葉は3月15、16日、48時間のストライキを行いました。

現場労働者をないがしろにするな

JR東日本は「IT企業化」を掲げ、鉄道業務と労働者を軽視しています。若年退職が急増し、さらに国鉄採の大量退職を迎え、鉄道業務に必要な要員も確保できなくなっています。

この矛盾を現場に押し付けて乗り切るために会社は大合理化に突き進んでいるのです。

従来では考えられないような事故が続発しています。内房線では感電・死亡事故も発生しました。1月には東北新幹線でも停電・感電事故

が発生しました。

安全崩壊・事故続発の原因は外注化

安全崩壊・事故続発の原因はJRが進めてきた全面外注化です。その矛盾が「IT企業化」「鉄道部門4千人削減」などの施策の中で安全崩壊という形で表れているのです。

千葉では車両不具合や獣害が増加しています。一ノ宮派出廃止・木更津派出縮小の強行は、コスト削減を優先した安全切り捨てです。

検修業務の外注先とされたCTSでは、低賃金と将来展望のなさからプロパー社員の退職が止まらず要員が確保できなくなっています。

これを派出廃止・縮小という形で乗り切ろうとしているのです。

必要なのは職場からの労働者が声を上げることです。団結と闘う労働組合の力が重要です。ぜひ動労千葉に加入し共に闘おう。

*

3月15日、動労千葉はストに突入し、16日の勤務終了まで闘いました（写真上・千葉支社前で抗議行動、下・幕張車両センター前でスト突入を宣言）

